

『六甲砂防ウォーク2017』を開催しました ～スマホアプリを使って学ぶ六甲山ウォーキング！～


H29.11.25

＜ 六甲砂防事務所 ＞

六甲山地の砂防事業について多くの方に知っていただくため、『六甲砂防ウォーク』を開催しました。17回目となる今回は、住吉宮町公園から保久良夢ひろばまでの約12Kmを、砂防事業に関する説明ポイント（5箇所）を巡りながら歩きました。説明ポイントでは、今月から運用を開始したスマートフォンアプリ『六甲マイスター』（以下、アプリという）を用いての説明も行いました。

【コース図】

概要



日 時：平成29年11月25日（土）8:00～14:00
コース：【スタート】住吉宮町公園 ⇒①住吉小学校正門 ⇒②住吉川鉄道トンネル⇒③五助砂防堰堤 ⇒④打越峠 ⇒⑤Kocoroちゃんの森 ⇒【ゴール】保久良夢ひろば
主 催：六甲砂防事務所 参加人数：約60名



●住吉小学校正門・五助砂防堰堤でアプリ体験（AR機能※）

アプリのAR機能※を用いると、説明ポイントがカメラに映し出され、表示されたサインに触れると動画が再生されます。

住吉小学校正門では、昭和13年阪神大水害時に土砂が堆積した高さを表示し、同じ場所での現在の状況と見比べてもらい、当時の土砂災害の凄まじさを確認していただきました。また、五助砂防堰堤では昭和42年7月豪雨による流出土砂を砂防堰堤で捕捉したことや、当時災害を経験された方のインタビューを動画で見てもらい砂防堰堤の効果を知っていただきました。



【AR機能説明】

（赤の起動サインをタッチすると・・・動画が再生されます）



※AR機能…スマートフォンのカメラを通して見た風景に、その場所に関する情報が表示される機能です。

●打越峠でのパネル説明

打越峠では、六甲山地の地質、ナラ枯れ発生の現状の説明を行いました。六甲山地では風化した花崗岩が多く土砂が流出のリスクが高いことや、カシノナガキクイムシによるナラ枯れの発生の仕組みを理解していただきました。

●保久良夢ひろば（ゴール地点）で模型による土石流実験

ゴールでは、土石流模型実験装置を使って砂防堰堤が果たす役割の説明を行い、土砂災害の実態や六甲山地における砂防事業の取り組みについて理解を深めていただきました。



参加者の声

- ・ARアプリでの災害や砂防施設などの説明が今までにない企画でとても良かった。スタンプ機能もあって楽しかったです。
- ・アプリには、地域の歴史を知ることのできるスポットも充実してほしいです。
- ・土砂災害の危険性のみでなく、防災の取組もよくわかりました。
- ・時間も距離も適当であった。スタッフの人がいろいろ教えてくれてうれしかった。
- ・グリーンベルト整備事業、頑張してほしいです。

アプリのダウンロードはこちらから→

<https://sanka.sabopc.or.jp/sp.html>

ぜひスマートフォンに！

【お問合せ先】

国土交通省 近畿地方整備局
六甲砂防事務所 調査課

〒658-0052 神戸市東灘区住吉東町3-13-15
TEL：078-851-0535

